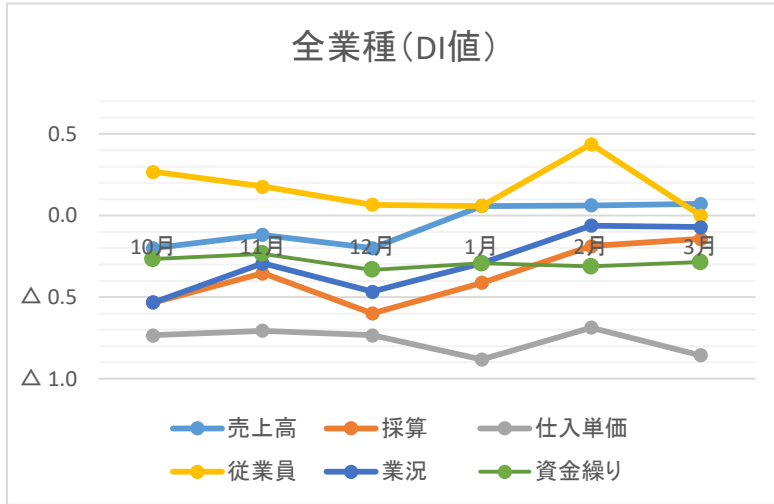


白河商工会議所LOBO調査結果(令和5年3月分)

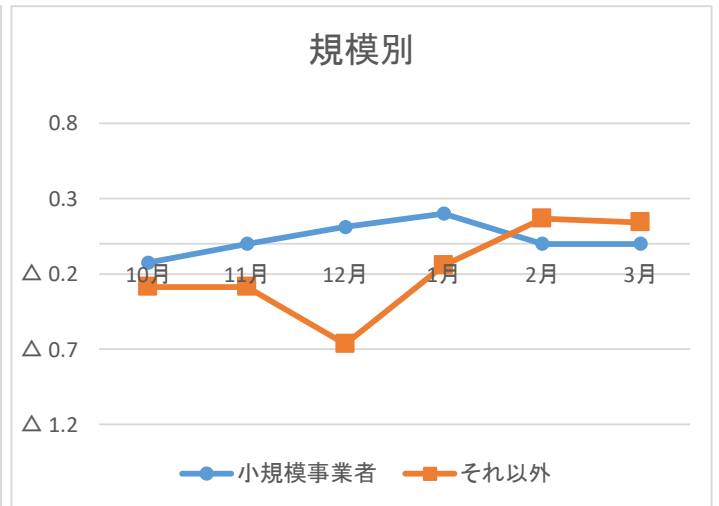
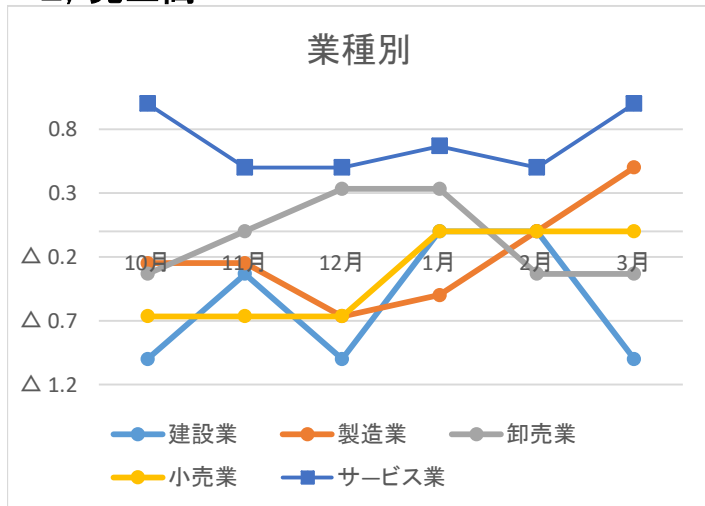
実施期間:令和5.3.10~3.22 回答事業所: 14事業所

1, 全業種DI値



3月の全業種DI値を見ると、採算が+0.1ポイント上昇した。
一方で、仕入単価は-0.2ポイント、従業員-0.4ポイント下降。売上高、業況、資金繰りは横ばいとなった。

2, 売上高

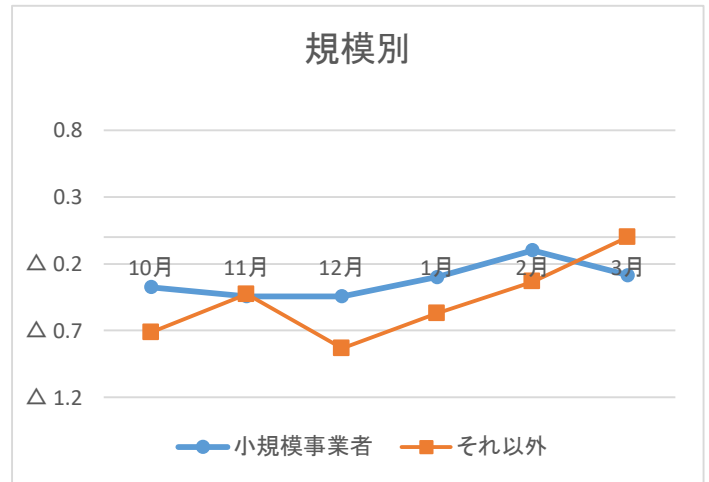
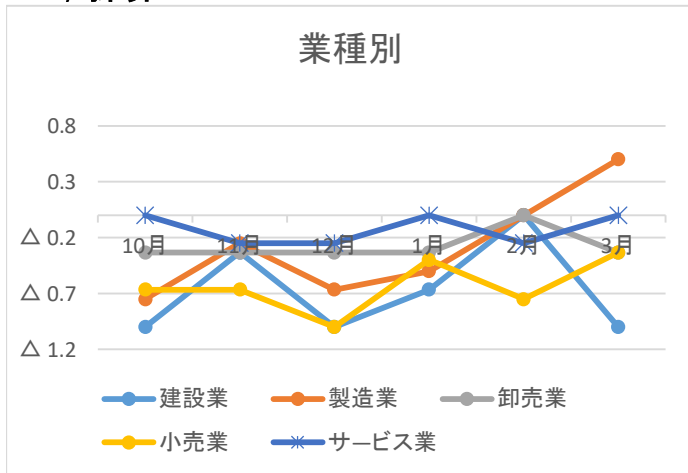


売上DIの推移

	10月	11月	12月	1月	2月	3月
全産業	△ 0.2	△ 0.1	△ 0.2	0.1	0.1	0.1
建設	△ 1.0	△ 0.3	△ 1.0	0.0	0.0	△ 1.0
製造	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.7	△ 0.5	0.0	0.5
卸売	△ 0.3	0.0	0.3	0.3	△ 0.3	△ 0.3
小売	△ 0.7	△ 0.7	△ 0.7	0.0	0.0	0.0
サービス	1.0	0.5	0.5	0.7	0.5	1.0
小規模	△ 0.1	0.0	0.1	0.2	0.0	0.0
それ以外	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.7	△ 0.1	0.2	0.1

全産業の売上DIは前月と同じであった。
業種別に見てみると、建設業は-1.0ポイント、製造業・サービス業は+0.5ポイント上昇した。
卸売業・小売業は横ばいとなった。
規模別に見ると小規模は横ばい、それ以外は-0.1ポイント下降した。

3, 採算

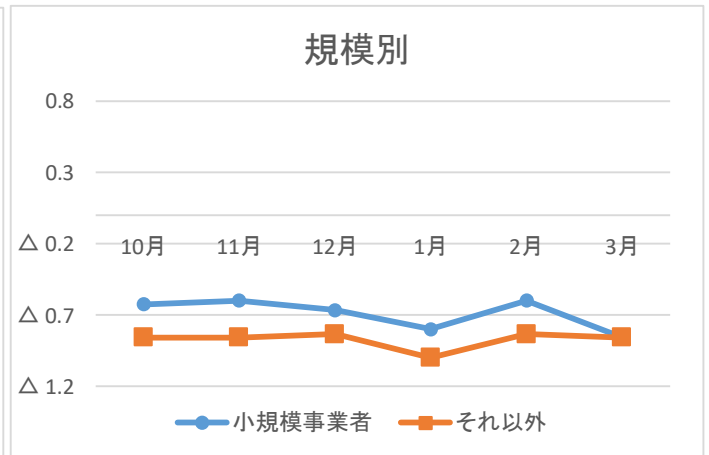
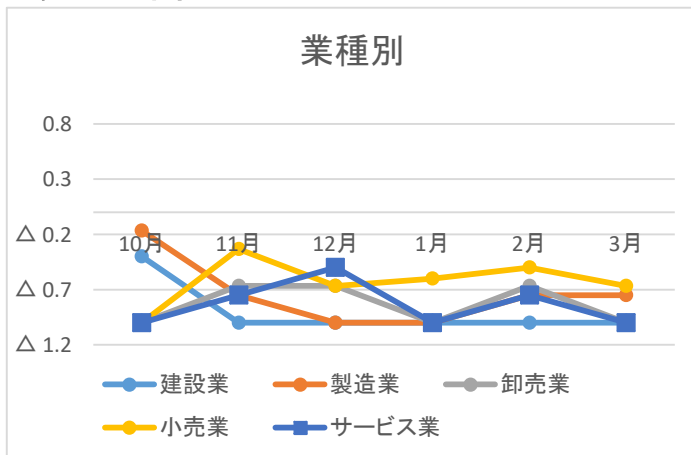


採算DIの推移

	10月	11月	12月	1月	2月	3月
全産業	△ 0.5	△ 0.4	△ 0.6	△ 0.4	△ 0.2	△ 0.1
建設	△ 1.0	△ 0.3	△ 1.0	△ 0.7	0.0	△ 1.0
製造	△ 0.8	△ 0.3	△ 0.7	△ 0.5	0.0	0.5
卸売	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.3	0.0	△ 0.3
小売	△ 0.7	△ 0.7	△ 1.0	△ 0.4	△ 0.8	△ 0.3
サービス	0.0	△ 0.3	△ 0.3	0.0	△ 0.3	0.0
小規模	△ 0.4	△ 0.4	△ 0.4	△ 0.3	△ 0.1	△ 0.3
それ以外	△ 0.7	△ 0.4	△ 0.8	△ 0.6	△ 0.3	0.0

全産業の採算DIは前月から+0.1ポイント上昇した。
業種別に見てみると、製造業・小売業は+0.5ポイント、サービス業は+0.3ポイント上昇した。
一方で、建設業は-1.0ポイント、卸売業は-0.3ポイント下降した。
規模別に見ると、小規模は-0.2ポイント下降、それ以外は+0.3ポイント上昇した。

4, 仕入単価

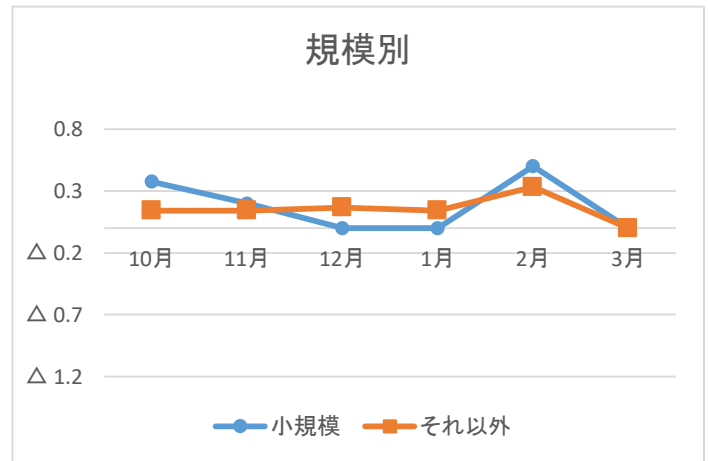
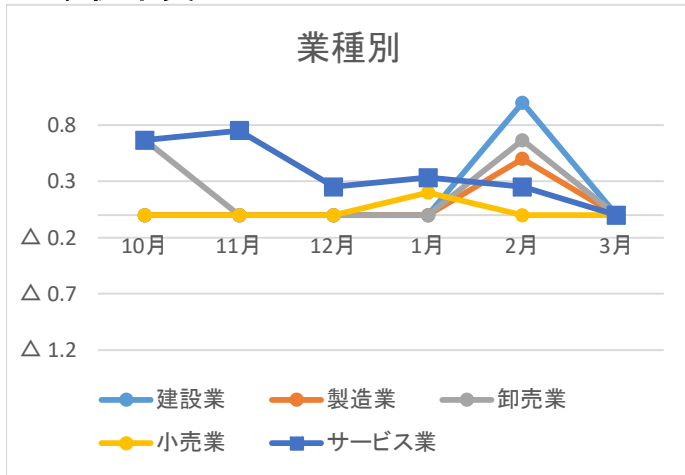


仕入単価DIの推移

	10月	11月	12月	1月	2月	3月
全産業	△ 0.7	△ 0.7	△ 0.7	△ 0.9	△ 0.7	△ 0.9
建設	△ 0.4	△ 1.0	△ 1.0	△ 1.0	△ 1.0	△ 1.0
製造	△ 0.2	△ 0.8	△ 1.0	△ 1.0	△ 0.8	△ 0.8
卸売	△ 1.0	△ 0.7	△ 0.7	△ 1.0	△ 0.7	△ 1.0
小売	△ 1.0	△ 0.3	△ 0.7	△ 0.6	△ 0.5	△ 0.7
サービス	△ 1.0	△ 0.8	△ 0.5	△ 1.0	△ 0.8	△ 1.0
小規模	△ 0.6	△ 0.6	△ 0.7	△ 0.8	△ 0.6	△ 0.9
それ以外	△ 0.9	△ 0.9	△ 0.8	△ 1.0	△ 0.8	△ 0.9

仕入単価の全産業DIは-0.2ポイント下降した。
業種別に見ると、卸売業は-0.3ポイント、小売業、サービス業は-0.2ポイント下降した。
建設業・製造業は横ばいとなった。
規模別に見ると、小規模は-0.3ポイント、それ以外は-0.1ポイント下降した。

5, 従業員

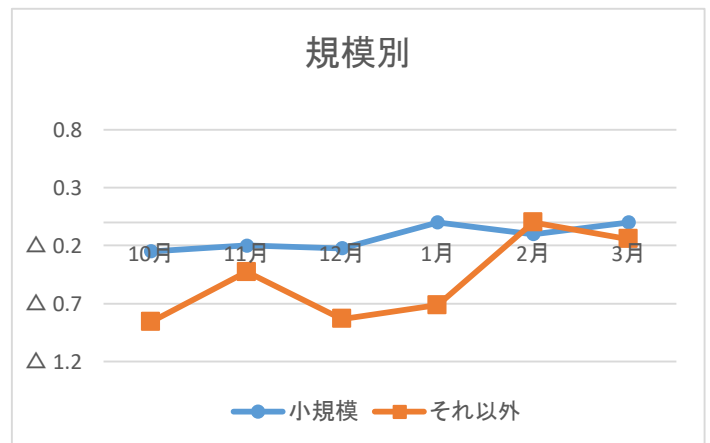
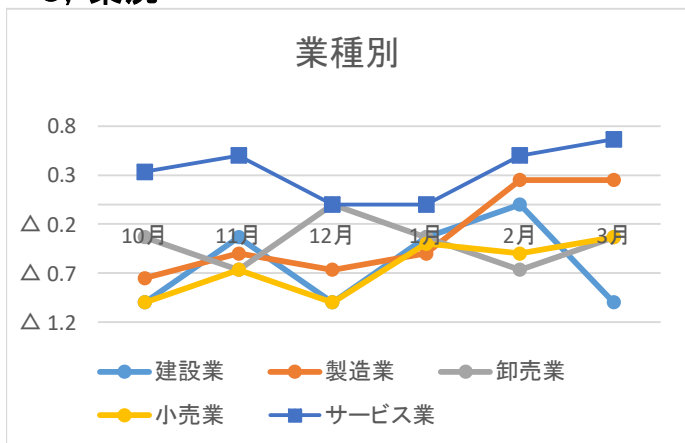


従業員DIの推移

	10月	11月	12月	1月	2月	3月
全産業	0.3	0.2	0.1	0.1	0.4	0.0
建設	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0
製造	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	0.0
卸売	0.7	0.0	0.0	0.0	0.7	0.0
小売	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0	0.0
サービス	0.7	0.8	0.3	0.3	0.3	0.0
小規模	0.4	0.2	0.0	0.0	0.5	0.0
それ以外	0.1	0.1	0.2	0.1	0.3	0.0

従業員の全産業DIは-0.4ポイント下降した。
業種別にみると、建設業は-1.0ポイント、製造業は-0.5ポイント、卸売業は-0.7ポイント、サービス業は-0.3ポイント下降した。
小売業は横ばいとなった。
規模別にみると、小規模は-0.5ポイント、それ以外は-0.3ポイント下降した。

6, 業況

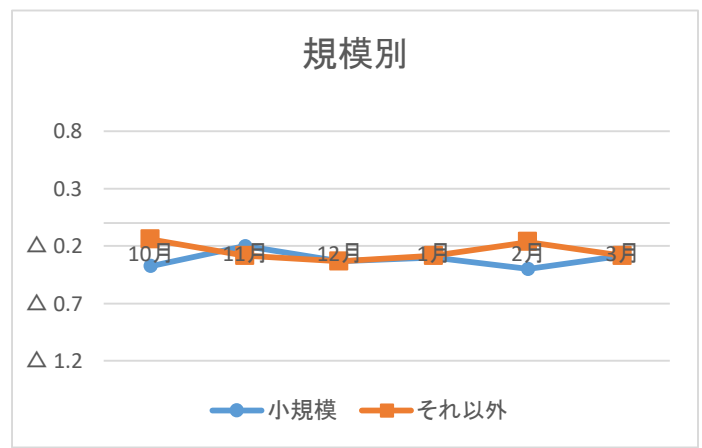
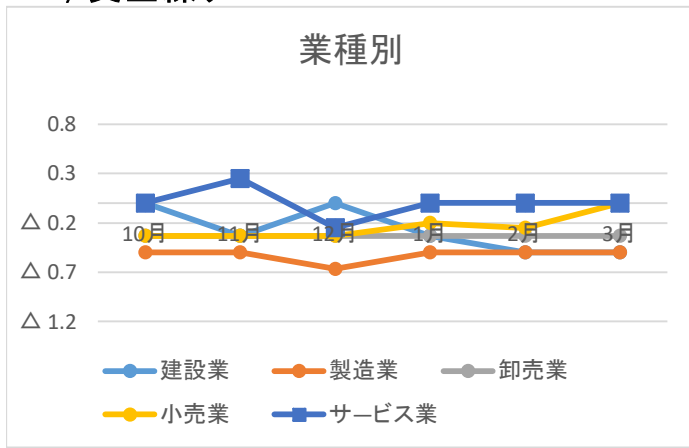


業況DIの推移

	10月	11月	12月	1月	2月	3月
全産業	△ 0.5	△ 0.3	△ 0.5	△ 0.3	△ 0.1	△ 0.1
建設	△ 1.0	△ 0.3	△ 1.0	△ 0.3	0.0	△ 1.0
製造	△ 0.8	△ 0.5	△ 0.7	△ 0.5	0.3	0.3
卸売	△ 0.3	△ 0.7	0.0	△ 0.3	△ 0.7	△ 0.3
小売	△ 1.0	△ 0.7	△ 1.0	△ 0.4	△ 0.5	△ 0.3
サービス	0.3	0.5	0.0	0.0	0.5	0.7
小規模	△ 0.3	△ 0.2	△ 0.2	0.0	△ 0.1	0.0
それ以外	△ 0.9	△ 0.4	△ 0.8	△ 0.7	0.0	△ 0.1

業況の全産業DIは前月と同じであった。
業種別に見ると、卸売業は+0.4ポイント、小売業・サービス業は+0.2ポイント上昇した。
一方で、建設業は-1.0ポイント下降であった。
製造業は横ばいであった。
規模別で見ると、小規模は+0.1ポイント上昇、それ以外は-0.1ポイント下降した。

7, 資金繰り



資金繰りDIの推移

	10月	11月	12月	1月	2月	3月
全産業	△ 0.3	△ 0.2	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.3
建設	0.0	△ 0.3	0.0	△ 0.3	△ 0.5	△ 0.5
製造	△ 0.5	△ 0.5	△ 0.7	△ 0.5	△ 0.5	△ 0.5
卸売	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.3
小売	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.2	△ 0.3	0.0
サービス	0.0	0.3	△ 0.3	0.0	0.0	0.0
小規模	△ 0.4	△ 0.2	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.4	△ 0.3
それ以外	△ 0.1	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.2	△ 0.3

資金繰りの全産業合計DIは前月と同じであった。
 業種別に見ると、小売業は+0.3ポイント上昇した。
 建設業・製造業・卸売業・サービス業は横ばいとなった。
 規模別に見ると、小規模は+0.1ポイント、それ以外は-0.1ポイント下降した。

※「建」:建設業、「製」:製造業、「卸」:卸売業、「小」:小売業、「サ」:サービス業

1.付帯調査【賃上げの動向】

1-1. 貴社の2022年度の賃上げの状況について、選択肢から1つお選びください。

	建	製	卸	小	サ	合計
①業績が改善しているため、賃上げを実施した						0
②業績の改善がみられないが、賃上げを実施した	1	1				2
③賃金は同水準を維持する		1		2	1	4
④賃金は引き下げる		1				1
⑤現時点では未定						0
⑥回答不能						0

※質問1-1で選択肢①～②と回答した方にお伺いします。

1-2. 貴社の2022年度の賃上げの内容について、選択肢からお選びください(複数該当する場合は全てお選びください)。

	建	製	卸	小	サ	合計
①定期昇給を実施した	1					1
②ベースアップを実施した						0
③手当の新設・増額(例:住宅手当や家族手当、役職手当の増額など)						0
④一時金(賞与)を増額した						0
⑤回答不能						0

※質問1-1で選択肢①～②と回答した方にお伺いします。

1-3. 賃上げを行う理由について、選択肢からお選びください(複数該当する場合は全てお選びください)。

	建	製	卸	小	サ	合計
①人材確保・定着やモチベーション向上のため	1			1		2
②最低賃金が引き上げられたため						0
③新卒採用者の初任給や非正規社員の給与を引き上げたため						0
④時間外労働の削減により手取り額が減少しているため						0
⑤社会保険料の増加により手取り額が減少しているため				1		1
⑥他社より低い賃金になっているため						0
⑦数年来、賃上げを見送っていたため						0
⑧物価が上昇しているため	1					1
⑨税制の優遇措置(所得拡大促進税制)を利用するため						0
⑩その他→コメント欄に記入をお願いいたします						0
⑪回答不能						0

※質問1-1で選択肢③～⑤と回答した方にお伺いします。

1-4. 賃上げを見送る、もしくは未定とする理由について、選択肢からお選びください(複数該当する場合は全てお選びください)。

	建	製	卸	小	サ	合計
①今後の経営環境・経済状況が不透明なため		3			1	4
②業績の改善がみられないため(見込み含む)		1				1
③社会保険料の増加により会社負担が増えているため					1	1
④すでに他社と同水準(もしくはそれ以上)の賃金になっているため						0
⑤増員(予定を含む)による総人件費の増加を抑えるため						0
⑥新商品開発や販路開拓、設備投資等を優先するため						0
⑦非正規社員の賃金(時給等)を引き上げる一方で、総人件費の増加を抑えるため						0
⑧研修や福利厚生充実を優先させるため						0
⑨その他→コメント欄に記入をお願いいたします						0
⑩回答不能						0

2. 政府はマスクの着用ルールの見直しを行い、3月13日よりマスク着用は個人の判断に委ねることが基本とされました。一方で、「事業者が感染対策上または事業上の理由等により、従業員や利用者にマスクの着用を求めることは許容される」とされました。そこで、貴社におけるマスク着用の取扱い方針について、選択肢からお選びください(複数該当する場合は全てお選びください)。

	建	製	卸	小	サ	合計
①従業員のマスク着用は個人の判断に委ねる	1			1		2
②従業員に対して、会議時や接客時等、特定の場面ではマスク着用を求める	1	2		2		5
③従業員に対して、業務中のマスク着用を求める		1		2		3
④従業員に対してのマスク着用方針は検討中					1	1
⑤利用者のマスク着用は個人の判断に委ねる		1		1		2
⑥利用者に対して、飲食中の会話時等、特定の場面ではマスク着用を求める						0
⑦利用者に対して、一律にマスク着用を求める						0
⑧利用者に対してのマスク着用方針は検討中						0
⑨その他→コメント欄に記入をお願いいたします						0
⑩回答不能						0

2022年度の賃上げの動向についての付帯調査において、「賃上げは同水準を維持する」の回答が最も多く、「今後の経営環境・経済状況が不透明なため」の理由であった。一方で、賃上げを実施した企業の意見で「人材確保・定着やモチベーション向上のため」の回答があり、業績が改善している状況ではない中での賃上げの実施という企業努力も一部見られた。3月13日より見直されたマスク着用の取扱い方針については、業務中のマスク着用を求める企業がほとんどであり、新型コロナウイルスへの懸念はまだ続いている状況である。